

マツダ財団 第35回(2019年度)青少年健全育成関係 市民活動支援団体一覧表

No	活動名および活動概要 (活動概要は申請者記載の通り)	団体名	対象分野	地域	支援 金額 (千円)
①	虹の鯉のぼりプロジェクト 2014年、2015年と助成いただきました「虹の鯉のぼりプロジェクト」。もともとは地元浅江中学校の生徒が東日本大震災の被災地を訪れて学ぶシンサイミライ学校交流会に参加し、東松島市で震災で亡くなった子どもたちの鎮魂のために青い鯉のぼりを集めて掲げている「青い鯉のぼりプロジェクト」とご縁をいただいたことがきっかけでした。私たちが青い鯉のぼりを集めて現地へ送ると共に他の色の鯉のぼりを被災地と空と海でつながっている虹ヶ浜海岸に掲げ、東日本大震災と中学生たちの想いを忘れないように毎年開催し、今年で6回目の開催となります。現在では中学生の地域貢献活動の発表の場にもなっています。	虹の鯉のぼりプロジェクト実行委員会	地域連帯、コミュニティづくり	山口県 光市	100
②	「地域全体で子育て・親育ち応援!!」 ～地元を愛し、お互いに元気になろう～ 県が作成した「『親の力』をまなびあう学習プログラム」通称「親プロ」を活用して、子育て・親育ち応援の講座を町内外で開催している。現在当町において不登校の児童・生徒・ひきこもりの人が多数みられる。助成金をいただいたことで、2017年度よりの新規取り組みとして、その保護者の苦しみに共感し、「親プロ」講座・講演会・「カフェすのき」による孤立の解消、悩みの軽減に努めている。2018年度は、「カフェすのき」(月に1度の開催)が定着し周知されたことで、町内の中学校との連絡会を持つことができた。また、コーディネーター6名が2級心理カウンセラー講座を受講、さらに4名は1級心理カウンセラー講座を受講し、2019年度は「親の会」(自助グループ)の立ち上げやカウンセリングも行いたいと考えている。 「ネウボラふちゃう」とも連携し、早期発見型支援、必要に応じた専門機関への橋渡しの事業に取り組みたい。	府中町家庭教育支援チーム「くすのき」	地域連帯、コミュニティづくり	広島県 安芸郡	200
③	「自己肯定感」を育むまちづくりプログラム 近年、様々な調査において、日本の子どもたちの自己肯定感が、他国の子どもたちに比べて低く、消極的な問題行動を起こすという調査結果が示されている。その原因は家庭・友達・学校において褒められたり認められたい機会が乏しく自分に自信が持てていないからである。だから、次代を担う子供たちが自分の可能性を信じ夢に向かっていける人材になれる機会を設ける必要がある。	公益社団法人防府青年会議所	地域連帯、コミュニティづくり	山口県 防府市	400
④	A I に負けない子供育成プロジェクト (子供達で耕作放棄地から味噌販売) 「河内小4年生」と「チーム豆っこ」が連携し、約600m <sup>2</sup> の耕作放棄地を無償で借り、畑に再生、有害獣防止柵を設置、肥料を入れて土づくり、大豆植えから収穫、味噌作り、パッケージを商品販売まで一連の流れを体験してもらいます。特徴としては、工程毎、子供達が相談し、どのようにするかを決めて行動し、それをチーム豆っこや地域協力隊でバックアップします。また、広島の第一線で活躍されているプロに「土づくり及び野菜作り」、「大豆、味噌、塩、麴の栄養や力」、「売れるパッケージ」について指導して貰うなど、地域一丸となって取り組みます。 そうしたことで、子供達には、耕作放棄地の再生から商品販売まで一連の流れの活動をしてもらうなかで、①読解力を磨き、②「五感を使って感性を育み」、③「正解のない問題に向き合う」、④「プロから職について学ぶ」ことを体験してもらい、将来、A I 到来の時代においても、逞しく生きることが出来る人になれるように支援するものです。	チーム豆っこ	科学体験・ものづくり	広島県 東広島市	300
⑤	おごおりウィークエンドアドベンチャー 平成11年度「子ども地域活動促進事業」により様々な体験活動を行う事業として始まり平成31年度で21期生の募集となる。 学校・学年を超えた班で、様々な生活・自然・社会体験活動を行い、子供達の主体性や協調性、生きいきとした感性を育むことを目的とする。 当初、大人の「こだわり」と「遊び心」で、子供の「自由な心」に触れてみませんかとボランティア指導者を募り、地域の隠れた「名人」「達人」を発掘、現在の指導者で活動を行なっている。 活動内容は、学校で行うことのない、長距離サイクリング、登山、キャンプ、スキー等、自然を感じられる内容となるよう努め、地元の大学生や高校生等も活動に加わり、子供達と交流している。	おごおりウィークエンドアドベンチャー実行委員会	自然とのふれあい	山口県 山口市	150
⑥	子どもたちの力でふるさと再発見 一つたえよう、ひろめよう備後絃音頭— 私たち備後絃音頭をつなぐ会の中に地域の小学生・中学生を対象とした「備後絃音頭」を学ぶ教室があります。唄・三味線・太鼓の稽古をして、地域のイベント等で披露しています。 この子どもたちの活動は私たちの目指す「備後絃音頭をとおしてふるさとの宝である備後絃の文化を伝え、ふるさとに誇りをもてる地域を育てる」目標に大きな力となっています。子どもたちがこの活動を通して地域を好きになるように、継続発展させるつもりです。子どもたちは稽古の日を楽しみにして通っていますし、イベントにも進んで参加したいと積極的なので、この雰囲気大切にしたいと思っています。また、この子たちの成長を愉しみにしています。	備後絃音頭をつなぐ会	地域連帯、コミュニティづくり	広島県 福山市	100

No	活動名および活動概要 (活動概要は申請者記載の通り)	団体名	対象分野	地域	支援 金額 (千円)
⑦	“space to find treasures!” (宝物を見つける場所) ——自分の本当の「好き」を見つける—— をテーマに、子どもたちが地域の方々と一緒に『自分発見』が出来るような体験の場を提供します。「子どもたちで創る子ども食堂」をベースに、地域の方に手仕事を教えてもらったり、更には、自然体験や職業見学など活動範囲を広げることで、体全体や心で感じる機会を増やします。この活動は、自分の本当の『好き』を見つけることで、子どもたちが豊かな未来を創造する力を蓄え、自信や喜びに満ち溢れ、決断力を持ったおとなになることを目的とします。	しもJOY	地域連帯、コミュニティづくり	広島県 広島市	220
⑧	わくわく土曜塾 ～多世代交流と国際交流～ 事業開始当初より貴財団より支援いただき、「わくわく土曜塾」の活動が、地域に定着しています。1年生から6年生までの縦割り班で、一年間様々な体験学習を通じて、子供の想像力やリーダーシップ、コミュニケーション能力を養うとともに、豊かな心をはぐくむ活動をしています。近年では地元高校生や、地域の高齢者と一緒に季節の行事や体験活動を行い「異世代交流」に着目した活動にも力を入れています。平成31年度は国際化社会に目を向け、日本語教室や市内企業と協力し、子供たちが在住の外国人の方との交流する場を作り、言葉の違い・文化の違いを体験する。	わくわく土曜塾実行委員会	地域連帯、コミュニティづくり	山口県 長門市	200
⑨	芸北小ふるさと夢プロジェクト ～教室はわたしたちの町～ 「ふるさと芸北」の「自然や人、文化・産業」を学ぶことを通して、芸北のよさを実感し、将来ふるさとに貢献できる人材を育てたい。そのために「教室はわたしたちの町」をコンセプトに、芸北地域全体を「教室」と捉えて、「自然（山）」「人（技能）」「文化・産業（伝統～革新）」という、地域を代表する3つのテーマを「学びの領域・対象」として、総合的な学習の時間を中心に取り上げ学習する。地域の方をゲストティーチャーとして招聘し、地域の良さや地域が抱える課題について、主体的に問題解決をする活動を通して、ふるさとの将来を考え、ふるさとの将来の創造に主体的に関わっていかうとする児童を育てたい。またその活動を通して、芸北の子ども達に育てたい資質・能力として設定した6つの力を高めていけるよう活動していく。	芸小と山の匠たち	地域連帯、コミュニティづくり	広島県 山県郡	220
⑩	不法投棄の川を観光地に変えたボランティア 小学生と多くのボランティアが、不法投棄の川にホタルを飛ばし、ごみ捨て防止のために花を植えたり、ごみを拾って環境を整える活動を行っている。その結果として、堂々川の中流域1.5kmを砂留と色々な風景を見る事ができる観光地に変えている。又成果が次の目標を与えてくれ、約4kmの小さな花崗岩地域で或る時は溪流、そしてある時は暴れ川になる。彼岸花の花数が広島県トップレベルであることや花色の数21色が日本一であると観光客から教えてもらえ、夢とも思えるNO.1の景色が見えてきており、これは会員の誇りとなっている。	堂々川ホタル同好会	自然とのふれあい	広島県 福山市	220
⑪	お宝野菜に学ぶ伝統料理の継承と循環型社会 子どもたちが地元の伝統野菜や食文化に興味・関心を寄せ、自ら栽培し収穫を体験することは、子どもたちの思い出として大きな財産となるとともに、故郷への郷土愛を育む骨格になると考えられます。生ごみを利用した土づくりから始め、広島県の在来種（お宝野菜）の栽培～収穫を体験、地元の伝統料理を習い収穫の喜びを共有するとともに伝統食文化の継承の大切さを学ぶこととします。	Team JIN「仁」（呉市市民公益活動団体）	自然とのふれあい	広島県 呉市	280
⑫	育てて！拡がれ！未来の地球 ミニソーラーカー工作教室 目的 ①ミニソーラーカーの工作を通して子ども達に太陽光発電や省エネについて知ってもらう。子ども達を通して省エネ意識が家族に拡がり、地球温暖化の原因である二酸化炭素削減に寄与する。 ②将来を担う子ども達が工作をきっかけに科学の面白さに目覚め、将来起こる様々な問題を科学的に解決できる大人に育つことを期待する。 内容 ①宇部市内で開催されるイベント3回と夏休み1回、小学生を主対象にソーラーカー工作教室(各回30人)を開催する。 ②イベント工作教室ではキットの組立、夏休み工作教室では省エネなどの講話とキットの組立を行う。 ③工作キット製作と工作指導をUNCCA事務局員とボランティアが行う。	宇部市地球温暖化対策ネットワーク(UNCCA)	科学体験・ものづくり	山口県 宇部市	260
⑬	発達障がい・成人対象音楽療法グループ 「ここにこ音楽・アンサンブルクラブ」 本会は平成19年より発達障がいの子どもの対象とした「ここにこ音楽クラブ」を開催しているが、音楽療法における、思春期、青年期への対応の必要性を感じ、2019年度は、支援学校や高校卒業者、社会人（概ね18歳から20歳代～30歳代）を対象とした、「ここにこ音楽・アンサンブルクラブ」を発足させたい。音楽で安心して落ち着ける居場所づくり、仲間づくりを行いたいと考えている。 音楽療法士、広島県立大学福祉学部の学生も交えたグループでの音楽活動で、対象者のニーズに合わせて音楽活動を選びながら、対象年齢層に対応した楽器を使用して活動する。集団ならではの得られる力を利用して、長期目標は社会自立を目指す。 短期目標は音楽活動を通じて、創造力・想像力を刺激し、自己表現・感情表現を豊かにすることとする。	三原音楽療法研究会	青少年の居場所づくり	広島県 三原市	130

No	活動名および活動概要 (活動概要は申請者記載の通り)	団体名	対象分野	地域	支援 金額 (千円)
⑭	発達障がい児を自分のスペシャリストに！	(一社) クローバーの会	青少年の居場所づくり	広島県 広島市	400
	クローバーの広場は、発達障がい児が自己認識を高め自分の特性を生かして、将来社会で生き生きと働き生活することを目的に2013年に始めた事業です。会のビジョンの一つ「本人を自分のスペシャリストにするために、国語・算数・英語・感覚統合訓練・絵画の各教室で専門的な指導法のもと、自らの認知スタイルや特性を理解し、自己実現を図るための学習・発達支援を行っています。2018年からは、高校や大学を目指す子の認知特性に特化した受験塾も始めました。来年度からは長年の懸案の不登校児対象のフリースクールを始めます。子ども達には自分は役に立つ人間だと実感できる場所、親にとってはわが子を客観的に理解する場所です。				
⑮	SKCアカデミー ～発達障がいを持つ児童生徒対象サッカー教室展開事業～	一般社団法人日本発達支援サッカー協会 (JDSFA)	地域連帯、コミュニティづくり	広島県 広島市	300
	発達障がいを持つ児童生徒を対象に、当協会の有資格者(認定コーチ)の指導による当協会独自のプログラムである「さっかありよういっく®」を取り入れたサッカーアカデミー(教室)の事業展開を実施する。発達障がいを持つ児童生徒の「脳のアンバランス改善」、「コミュニケーション能力の向上」、「グループの理解」をサッカーというスポーツを通じて、楽しみながらスキルアップ・実践を目指し、子どもたちと家族に笑顔をつくることを目的とする。				
⑯	持続可能な地域創造	NPO法人フリースクール木のねっこ	地域連帯、コミュニティづくり	広島県 廿日市市	220
	学校に行かない・行けない子どもが、心身ともに健全で自分らしさを発揮し、社会で生きていく力を養うことを目的とし講師を招いてワークショップ形式で木材切断などを子どもたちが行い、屋根付き露天風呂を自らの創造力の下、創作し、その維持管理を試行錯誤する。風呂ができると講師やスタッフが宿泊しやすくなり、より多様な人がフリースクールを訪れ、交流することができる。子どもは多様な大人から学び、経験を積み、自らの足で立って歩き、前進していくことを促していく。この施設では、福祉・教育・地域を越えた幅広い人々をつながりを持ちながら個性豊かな循環型社会づくりのためのイベント会場としても利用していく。				
⑰	フリースクール おくはた分校	フリースクール おくはた分校	青少年の居場所づくり	広島県 広島市	220
	いじめや不登校で学校に行けない・行かない子供たちのサポートを目的とする。 「学校に行けない・行かないことは問題ではない」と法律でも認められました。 しかし、現実には制度が追い付かず「引きこもる」しか選択肢はありません。 この現状に大きな問題があると感じています。 「フリースクールおくはた分校」では、子供の学校以外での学習の場を提供し、規則に縛られない自由な空間で、自分がやりたいことを見つけ生きることが楽しいと感じられる力を作る。 地元住民との交流を図り地域ぐるみで子育てできる環境を作る。 思いやりのある道徳心にあふれた子供達を育成します。				
⑱	地域社会と連携した子育て健全育成サポート	日立のぞみ会	科学体験・ものづくり	山口県 下松市	280
	近年、子供たちの理科離れの現象が在り、理科離れが進むと理工系の技術者が減少して、ものづくり産業の継続維持が困難になって来るのではと危惧される。小学生の頃に理科の授業や理科の実験やものづくり工作等に興味を持ち理科好きになってもらい将来少しでも理工系に携わる人材を育成する目的で、小学校の理科の実験授業の準備、実験支援、後片付け等の理科ボランティアを実施していますが、ものづくりの授業は少ない為に夏休み、冬休みに「親子ものづくり教室」を開催しています。又、2020年から小学校でプログラミング授業が必修科目となることから、プログラミングに必要な機材を揃えて、親子で参加する「第1回 親子プログラミング教室」を開催しましたら多くの方から継続してプログラミング教室の開催の要望が寄せられているため、「親子ものづくり教室」と「親子プログラミング教室」を継続して開催したいと思っています。				
⑲	小学生対象の感動を与えるプログラミング教室	近畿大学工学部 教育情報システム研究室	科学体験・ものづくり	広島県 東広島市	450
	小学生を対象としたプログラミング教室を継続的に開催します。本活動のプログラミング教室はできるだけIT機器を使わずカードゲームなどを応用した「遊び」を通してプログラミング的な思考を養うことを目指しています。IT機器の設備や環境がなくても様々な場所で学べる機会を継続的に提供するものです。内容は基本的な方針のみを示し参加者の中で知恵を引き出し課題を作成し、解のないテーマをグループにて出し合い解決方法を探るといった活動を繰り返して行います。本活動は東広島市や近隣地域の小学生、広島の大学生、地域で取り組んでいるIT関連の会社の社会人とチームを作ることで日頃交流のできない人を結び付け交流する場となることも目的としています。				
⑳	ものづくり科学教室	日本宇宙少年団 周南分団	科学体験・ものづくり	山口県 周南市	100
	小学生(登録者約120名)とその保護者を主たる対象とし、ものづくりと科学に関する、工作、実験、社会見学などの体験学習を毎月一回、合計10回実施します。 ものづくりや科学への関心を高めるとともに、探究心、創造力、自立心、協調性を育む活動を目指します。活動を通し、自信溢れる発射とした青少年を育成するとともに、学びや研究の目標作り、親子の触れ合い、地域社会との共生を目指します。 活動はボランティアリーダー約10名を中心に、外部講師、近隣社会の協力を得ておこないます。				



No	活動名および活動概要 (活動概要は申請者記載の通り)	団体名	対象分野	地域	支援 金額 (千円)
②①	自律型ロボット競技大会の開催とこれを通じた次世代ボランティア人材の育成	ロボカップジュニアジャパン広島ブロック運営委員会	科学体験・ものづくり	広島県 広島市	120
	狙い：自律型ロボットの競技であるロボカップジュニアの地方大会運営を「競技のOB」が実施することで、次世代のボランティアスタッフの育成と共に、企画・運営・問題解決・コミュニケーション能力の育成を狙う。 内容：企画段階から、競技OBの学生に「初めてみる子」が興味を持つようなショーアップ、「全国の競技をしている子がコミュニケーションの輪を広げる仕掛け」を課題として与える。各地に散らばる学生はITツールを活用し連携して進めてゆく。(大会の推進でPBL (Project Based Learning) を行う) 大人はこの実現に向けた「場所・モノ・カネ」を支援する。				
②②	理系子ども育成応援活動	NPO法人 山口科学技術子供フォーラム	科学体験・ものづくり	山口県 防府市	120
	当NPO法人は、「日本は科学技術を第一に据えるべき」と考えている。しかしながら近年は子供の理系離れが進行。これを危惧して子供を理系科に誘う以下の事業を収益なしで行っている。①えきなが講座：世界レベル活躍されている3人の理系大学教授を主に防府市に招き、中学生主体に年3回、自身の研究活動を通して科学技術の楽しさを話して貰う講演会。天文学、電気化学、人工結晶工学の3分野。平均35名の参加。②エキナガ塾：社会的養護のもとで生活する子供に対し、理系中心に学習支援する活動。現在は社会福祉法人・防府海北園の子供達への支援。毎週木曜日の1時間で約40人・時の支援活動。③子供科学者応援塾：子供の長期休み(主に夏休み)の2日間、理系科目の理解度の向上を支援する。現在は防府天満宮の氏子の子供(小学校高学年)が対象。約40人・時の支援活動。				
②③	子どもから高齢者まで誰もが来られる地域の居場所づくり	矢野の家(旧 笑顔つながり隊)	地域連帯、コミュニティづくり	広島県 広島市	350
	子どもから高齢者まで誰もが来られる地域の居場所づくりを目的とし、週2回(木曜と金曜)民家を解放。開放日には、乳幼児親子の自由な遊び場、母親同士の語り合いの場、放課後の子どもの遊び場、地域の方の語らいの場などのオープンスペースを提供。高齢者の健康づくりの為、週1回の健康体操やお話会を開催。地域交流として季節行事の開催。又、畑を活用し野菜の苗植えから収穫まで、行事を通しての食育活動。食を通じた多世代交流として「地域・こども食堂」の開催。そして、学習支援として小・中学生を対象とした寺子屋や無料塾も開催。こうした活動を通して、多世代がつながり合いホッとできる地域の居場所づくりを行っている。				
②④	地域を愛する青少年の養成を実現する 防災士による地域防災活動	広島市防災士ネットワーク	災害復興・災害対策に関する活動	広島県 広島市	320
	地域を愛し、自分の命は自分が守る青少年を養成する、防災士による地域防災活動 青少年が自分の地域を知り、地域の人を知ることで地域コミュニティ活動・防災力強化を実現する。 ①防災士ネットワーク会員を対象にした定期的な研修会…青少年も参加可能にする。 ②青少年への防災知識の啓蒙活動…自分の命は自分で守ることができる青少年に ・地域の防災イベント ・防災市民講座 ③青少年が実施する防災・減災活動を支援…ITを活用して情報共有とデータの地域への還元を目指す。 ・地域防災マップ作成(ぼうさい探検隊活動と連携)→地域自主防災組織～広島市へのデータ提供 ・活動青少年による防災市民講座での研究発表				
②⑤	「わが家の防災士」育成！親子de防災キャンプ	アウトドアコミュニティハンターキッズ	災害復興・災害対策に関する活動	広島県 広島市	220
	目的：アウトドアという視点で自然にアプローチし、頻発する気象災害への備えや避難行動、避難生活の学習・体験の機会を提供し、地域の防災力向上に資する人材育成を目的とする。 ねらい：参加者が「わが家の防災士」として学びを発信し、地域の子育て世代に家庭で備える防災力向上に向けたアクションにつなげる。 内容：豪雨災害や南海トラフ大地震を想定し、各家庭備えの確認や避難生活体験キャンプなどを実施する。身近な道具の活用法などを伝え、平時は楽しむ、緊急時には生きる力になる内容を盛り込み「わが家の防災士」を育成する。また、参加者が回覧板やSNS発信するように仕掛け、わが家を守れる家庭を500世帯育成する。				
②⑥	山災塾(若者対象災害ボランティア育成プロジェクト)	災害復興支援団体 山口災害救援	災害復興・災害対策に関する活動	山口県 山口市	350
	未来を担う子どもたちが、将来起こりうる自然災害に対しての正しい知識を持ち、自分の命・家族の命を自ら守ることができるようにする。また、被災した後の復旧・復興への取組等を知ることにより、災害ボランティア活動及び平常時における地域での支え合いの大切さを理解し、自分にできることを考え、実践できる力を養うことを目的として、現地体験学習を含めた災害とボランティアについて学ぶ勉強会を開催する。				

No	活動名および活動概要 (活動概要は申請者記載の通り)	団体名	対象分野	地域	支援 金額 (千円)
②7	輝楽希楽列車 (きらきられっしゃ)	佐伯文化芸能振興会	災害復興・災害対策 に関する活動	広島県 広島市	300
	<p>【目的】地域と学校が共同し、子供の感性を活かすつプロの作家の力を活用し広島県西部で発生した「6. 29土砂災害（1999年6月29日）」を「紙芝居」及び「絵本」にし災害体験の風化を防ぎ次世代に継承するためです。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の災害、復興、防災経験の継承</li> <li>・行政・教育・地域連携</li> <li>・地域人材の活用</li> <li>・郷土愛の醸成</li> </ul>				
②8	絵本と紙芝居のコラボで感性の種まき	絵本たねまき塾	青少年の居場所づく り	広島県 広島市	180
	<p>毎月第2・第4日曜日の午前10時～午後3時頃まで中央公園西側芝生広場の一面にメッシュのテントを張って「小さな劇場」を設置します。同じ時間帯に「もともち自遊ひろば（詳細はP2）」が実施されているので乳幼児連れの親子や小学生が100人以上訪れます。「小さな劇場」に訪れた子どもや保護者を案内して絵本の読み聞かせをしたり紙芝居を演じたりします。絵本を通して子どもや保護者に絵本の魅力や豊かな感性を育むことの大切さを伝え、また紙芝居文化に触れながら生身の人間が語る語りの楽しさを味わうと同時に想像力を膨らませたり豊かな言葉に出合ったりすることで人間的な心の成長を養う活動です。</p>				
②9	本と多様な価値観に出会う居場所づくり活動	私設図書館「さんさん舎」	青少年の居場所づく り	広島県 尾道市	240
	<p>自分の学びの場、人との出会いや集いの場、子どもたちと本を結ぶ場所。「本」をキーワードに学校でも家でも会社でもない居場所を作ります。様々な価値観や世界観を知る本との出会い、地域の人や専門家との出会い、生きる術や様々な考え方に触れ、人生の選択肢を広げるきっかけの場となることを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎子どもたちの居場所として、ふらりと立ち寄れる地域の縁側の空間を目指します。</li> <li>◎多種多様な考え方や働き方、生き方の人と出会うきっかけの場作りをし、人生の選択肢を増やします。</li> <li>◎本から知り得る世界で新たな発見、考え方などに触れることができ、価値観が広がる活動を進めます。</li> </ul>				
③0	『とりでこども食堂』・『とりでモーニング』『とりで塾』『退所児童等アフターケア事業』	NPO法人とりで	青少年の居場所づく り	山口県 岩国市	400
	<p>『とりでこども食堂』は土曜日の昼食時に子どもたちに昼食と調理体験を提供する。『とりでモーニング』は登校前の子どもたちに朝食を提供し、『とりで塾』は平日の夜間に学習支援を行う。対象はいずれも小学生から高校生であり、いずれも大人と子ども、または子ども同士の交流を行うことができ、子どもたちにとって過ごしやすい空間となっている。</p> <p>退所児童等アフターケア事業は児童養護施設等を退所した子どもに対する個別の相談支援、または外出や行事などを通して継続的な関わりを持つ。またグループワークとして、フットサル等を定期的に行い子どもが集まれるような空間を確保し、居場所づくりに取り組んでいる。</p>				
③1	子どもたちに夢と希望を！プロジェクト	ピアサポート子育て相談センター	地域連帯、コミュニテ ィづくり	広島県 広島市	350
	<p>生き方に大きく影響すると言われる「環境」を子どもたちは自分で選ぶことができない。おとなが選んだ環境のもとで成長することの重要性を認識し、養育者をサポートするとともに、多感な時期に入中学生のピアサポートをおこなう。</p> <p>養育者に対しては「家族」を大切に考えるためにも自分自身を充実させるよう提案をしていくとともに、「楽しく集まれる」イベントもおこない、ピアサポートや個別相談を敷居の高いものから気軽に心のうちを吐き出せる場所として利用しやすいものとしていく。</p> <p>中学生に対しては、学校や養育者とは無関係である認定心理士に日常のことをゆっくり話すことからはじめ、いつでも相談できる場所を目指す。</p>				
③2	「温故知新プロジェクト」若い力で私達の街を国際学園都市へ発展させよう！	NPO法人 ワン・フォー・オール	国際交流・協力	山口県 宇部市	300
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人は古民家や耕作放棄地等遊休施設を再生し、国際交流の場として活用することで青少年の健全育成や国際交流の促進に取り組んでいる。</li> <li>・教育機関の多い宇部市周辺では自らの異文化経験を情報発信したい留学生や国際交流に興味を持つ高校生等も増え、当該活動への参加者は増加している。</li> <li>・昨年秋には明治維新150年の記念博覧会において、地元高校生主体の国際交流イベントを開催し、15か国60名の留学生が参加、2千人からの衆目を集めた。</li> <li>・少子高齢化が進む地域において古い施設を再生し、そこに国際交流と言う新しい価値を創出して若者を中心に国際学園都市化を図る「温故知新プロジェクト」2期目の活動である。</li> </ul>				